

平成 30 年度 練馬区食育推進ネットワーク会議(第 6 期)第 3 回会議要録

- 1 開催日時
平成 30 年 10 月 18 日(木)午後 2 時 00 分～3 時 30 分
- 2 開催場所
練馬区役所本庁舎 19 階 1902 会議室
- 3 出席者
委員長 健康部長
副委員長 健康部健康推進課長
委員 市川委員、荒井委員、橋本委員、今給黎委員、坂本委員、谷口委員、井上委員、若山委員、山田委員
幹事 大泉保健相談所長、都市農業課農業振興係長、環境課地球温暖化対策係長、保健給食課学校給食係長、生活衛生課食品衛生担当係長、健康推進課健康づくり係長、健康推進課歯科保健担当主査
事務局職員 健康推進課栄養指導担当係 2 名、豊玉保健相談所栄養担当係主査
欠席委員 粕谷委員、増子委員、戸田委員、赤井委員、木川委員
- 4 公開の可否 公開
- 5 傍聴者数 0 名
- 6 配布資料
資料 1 食育推進ボランティア活動報告
資料 2 ねりまの食育応援店登録店登録状況について
資料 3-1 若い世代部会報告
資料 3-2 盆マルシェ報告
資料 4-1 ねりまの食育応援店交流会概要
資料 4-2 ねりまの食育応援店情報誌について
資料 4-3 //
資料 4-4 健康インセンティブにおけるねりまの食育応援店・都市農業サミットとのコラボキャンペーンについて
資料 4-5 //
資料 5 J A 東京あおば農業祭への出展について
資料 6 平成 30 年度練馬区食育推進講演会について

7 平成 30 年度 練馬区食育推進ネットワーク会議(第 6 期)第 3 回

(1) 開会

(委員長) 平成 30 年度第 3 回食育推進ネットワーク会議(第 6 期)を開催いたします。
本日は、木川委員と若山委員は少し遅れてご出席というご連絡がございました。

粕谷委員と戸田委員につきましては、ご欠席ということでございます。

区の幹事で保育課保育所給食担当係長、石神井保健相談所栄養担当係員が欠席です。健康推進課歯科保健担当係長の代理で歯科保健担当主査の出席となっております。ご連絡いただいておりますが、まだお見えでない方もいらっしゃるようですが、時間になりましたので、開始させていただきます。それではお手元の次第に沿って進めさせていただきます。

案件1、食育推進ボランティア活動報告について事務局から資料のご説明をお願いいたします。

(事務局) (資料1の説明)

(委員長) 資料1についてご説明をさせていただきました。

今年度は広がりを持って活動を進めることが出来ているという事でございます。何かご質問とかご意見はありますか。

子供食堂とか、色々な民間の団体からお声が掛かるようになって、私どもとしても大変よいことと思っております。これからも、少し広がりを持てるような形で取り組んでいければと思っております。

また皆様から開催できる場所、お声掛け出来る場所などがあれば是非教えていただければと思います。よろしく願いいたします。

また、ご質問につきましては後程いただいても結構でございます。他にもご報告事項がございます。次に案件の2のねりまの食育応援店の登録状況についてご説明をさせていただきます。

(事務局) (資料2の説明)

(委員長) 登録状況についてご説明をさせていただきました。

これについても後程の部会の方にもご意見を頂戴するという事で、案件の3に入らせていただきます。部会活動報告につきましては、事務局から前回の検討内容を報告させていただきました後に、委員の皆様におひとりずつお話をいただきたいと思っております。

まず、若い世代部会につきまして事務局からご説明をお願いいたします。

(事務局) (資料3の説明)

(委員長) 「盆マルシェ」の活動なども含めて報告させていただきました。

委員の方には、飛び入りで多大なるご協力をいただきましてありがとうございました。では、若い世代部会の委員の皆様一言ずつお話をいただければと思います。

(委員) 今お話があったように、興味があることには人が集まってくると思うので、興味がある場所に行って、一緒にイベントなどに参加し、伝えたいことを伝えるというのが、すごく良い取り組みだなと思いました。

あと、今の時代ってただ単に以前のやり方ではなく、お洒落感、お洒落な場所だ

という普通でない形を作ることは大切じゃないかなと思います。

(委員) 若い世代は、知らない事が多いけれど、なんでも手に入れようとしてくれたり興味を持ってくれる、というのがわかりました。そういうことで、色々なところに出向くと、全く知らないことに興味を持ってくれるのではないかなと思います。

(委員) 久しぶりの参加ですが、企画されていた事が着実に進んでいる、というふうに感じています。資料を読んでいて、若い世代への取り組みのヒントはどれも共感出来るものばかりで、特に2番なんかは、私達の身の回りでも、例えば「美味しい所がある」とSNSで投稿すると、「それ美味しそう」とか輪が少しずつ広がっていきます。拡散の方法としてSNSを利用していくというのは若い世代に向けては必要不可欠ではないかな、と感じております。

(委員) 江古田カレッジトライアングルの話が出ましたけれど、広聴広報の方が宣伝するということで、この間来ていらっしやいました。江古田みつばちのことで、何店かはホームページにも掲載されていますけど、そういう広報と、一緒にやると、効果も結構あがるのかなと思います。

それから実際に大学祭では、食べ物など作って売りますけれど、そこに来た人に対して簡単な食育をやっていくことも必要かなと。場合によっては、教室やコーナーをひとつもらうなどの企画をしていくのも面白いのかなと。結構私もでもロウソクを作ったりしているのですが、ただ大学生が儲ける為に売っているとかではなくて、自分たちも参加してみる。実際にお米はこう洗うのだよとか、ここがポイントだよとか、ひとつでも実際の生活に活かせるような事を人が集まる場面で、やっていくと効果的なのかな、と思っております。

(委員長) 今年も大学の学園祭では、若い人に向けた健康づくりの働きかけとして、握力測定をやるということで、健康部で出向きます。握力は筋力を現すものらしいです。私はこのまえ、測定して大変ショックを受けたのですが、年代平均より非常に少なかったのです。そういうことを若い人たちも体験してもらいながら感じてもらう場を作ろうということです。そういう場で、食育の媒体も配ったりすることも考えていきたいと思っております。

(副委員長) 日藝に確か行くのですよね。

(委員長) そうですね、日大藝術学部の学園祭でそれをやろうということを考えています。きっかけとしてそういう場も活用できれば。あと他にも、食育応援店のキャンペーンもありますので、後ほどご報告したいと思います。盆マルシェは本当にたくさんの方がお見えになったのですが、暑かったのでお茶が大変人気があって、食育の媒体の説明はなかなかできなかったのですが、お茶を自分で淹れて飲むことをなかなかしたことの無いお子さんとか若い方も多いと思うので、そういう意味では良かったのではと思っております。飲み比べでは、年代

によって、はっきりと好みが分かれていて、お子さんはほうじ茶が良くて、その親御さんぐらだと、深蒸し茶、その上の年代は煎茶を好むとか、割と世代的に人気分かれて面白いと思いました。

お声がけいただいて、マルシェのような場に参加できたことは、私たちとしても食育の場として大変良いと思います。世界都市農業サミットともぜひ協力してやっていきたいと思います。

では、食育応援店部会の報告を事務局からさせていただきます。

(事務局) (資料4の説明)

(委員長) こちらの店舗数は63店舗までなったということです。また、健康づくりのキャンペーンにもご協力をいただけるということで、少しずつ健康づくりとして食育の発信を充実させていただいてきているのではないかとこのように思っております。それでは、食育応援店部会の委員の皆様からもひとことずつお話をいただければと思います。

(委員) 私、小学校の食育部を担当しております。昨日も食育部の講演会がありまして、管理栄養士の方より色々な食育のお話をうかがうところなのですが、色々な方面から食を考えることができ、この会に参加すると決して学校の小学生・中学生だけでなく、世代によって食の問題って様々なのかなと思っています。小学生に関してはすごく偏食だったり、朝ごはんは食べたくなくて、食べずに学校来て、で給食は食べるけど夕飯はコンビニで、というような子がだんだん多くなってくるのかなと感じています。果たして家庭で時間をかけて手作りで、という食生活の小中学生がどのくらいいるのかなと心配することが多いように思います。食育って人が良くなっていく教育だと昨日の講演会でおっしゃっていましたが、いろんな角度で食を考え、まさに育ち盛りの子供たちには食を通して健全な発育をしてもらいたいなと思っているところです。色々な区の取り組みを見るにつけ、練馬は野菜もいろんなところで手に入りやすい区なので、積極的にそのことをアピールしていければと思っています。子供たち、意外と野菜嫌いの子も多いので、何とかしていきたいなと思っています。話はそれますが、今日の給食はかぼちゃの味噌汁が出たのですね。私の幼い頃よりは、今はハロウィンの影響なのか、かぼちゃを使ったメニューがすごく豊富にあると、個人的に思っているのですが、子供たちもやり方を変えると嫌いなものが好きになったり、何となく知らないうちに食べたということが自信になって食べられるようになるってということもあったりするので、やはり工夫次第かなと思うところもあります。いろんなお話をうかがいながら参考にさせていただきたいと思います。よろしく願いいたします。

(委員) 3か月前に部会をやり、今その時の資料を横で見ながら説明を聞いていたの

ですが、周知用のリーフレットから交流会、あるいはアプリとか、懸案で上がったことがすべて実施されているので、大変努力されているなどと思います。特に、アプリ、てくてくサプリーについて、あまり知識はないのですが、健康と一緒にやると、これが本当に出来るかなと思っていたのですが、健康キャンペーンを21日からやると、実現している。もうひとつは、いわゆるインセンティブを応援店が協力するかなということを考えていたのですが、これだけの店舗が応援するというのは努力されたと思います。特に63店舗、全部では無いのですが、これだけが加盟店で入っているというので、私としては感心して聞いていたところです。特に練馬は、野菜を作っている農家とか多いのですが、店舗で直接販売しているところはJAさんしかないのでは。それ以外ではスーパーとかで、多少練馬産は売っていますけど、もうちょっと練馬の野菜・果物が、練馬区の中だけでいいと思うのですが、うまく流通するとよいですね。特に小学校は給食ですからお使いになっているとは思いますが、家庭でも使えるようにしていただけたいのかなと思っています。

(委員長) 委員の中には、今回のキャンペーンに、お店でご協力いただいているところがあります。今日お見えではないのですが、JAの方にも、ご協力いただいております。キャンペーンにご協力いただくなど委員の方の応援も大きく、今回、実現できてありがたく思っております。

(委員) 一言でいうと素晴らしい。今回4期目なのですが、4期出るっていうことは、やっぱりこの3か月に凝縮されていると思います。歴代の職員の方々、本当に優秀で、お話ししたことを実現してくれて本当に素晴らしいと思っています。この事業が、この形になる前がすごく大変で、微妙な感じだったのですが、一から立ち上げて、今の時代を合わせてネットという壁、それもサプリーという素晴らしい武器を手にして、本当素晴らしいという言葉しかありません。ねりコレもですが、だいたい決まったお店しか出てこない。という事で、今回北町のお店をかなり紹介しました。それを審査会で問題と指摘されたりもしたので、大丈夫かなと思ったのですが、全部こちらに登録していただきました。本当にそれぞれのお店がいいっていうか、僕の大好きなお店です。でもたぶん個人的には立ち上がらないし、僕以外とか知らない人から言われても協力するのは嫌だって断われちゃうお店だと思うのですが、そういうお店がたぶん大勢を占めています。僕がお手伝いできる範囲でしたらもうちょっと増やせるかなと思います。要はお店の立場でいうと、いきなりやってきても、怪しい営業ばかりなので信用できないのです。僕は来た人の話は、全部話聞きますし、馴染みのお客様も大事にするのですが、大抵のお店の人は話を聞かないです。ですから、これは良いものだっていうのがマッチング出来ないということです。この度のシステムはそういう意味では広がり無限にある。職

員が自ら歩いて店を口説いているっていうところに感動があり、そういう事をお店から聞いています。委員長・副委員長の主導でここまで来て、さらに発展していっています。これは自分自身も努力しないといけないと思い、東京都の地産地消に取り組むとうきょう特産食材使用店に、登録されました。審査となったときに、他区のことを自分で努力して調べたところ、練馬のすごさを実感しました。個人的には他区とか東京都の取り組みももっと学んでいきたいと思っています。学んだことをこの場で伝えられたら、もしくは橋渡しができればというような思いがあります。

(委員) 先日、孫の運動会に行ったのですが、前から2番目くらいで本当に細くって小さいので、嫁にちゃんと食べさせているの？と聞いたら、今、あんまり大きな子って少ないのよと。他の方がおっしゃったようにやはり偏食もあるのになって感じます。親が美味しそうにしっかり食べると子供もつられて食べる、私の場合、そうやって子どもはあんまり偏食無しで育ったかなと思うんですが、今は、親も忙しいので、出来合いの物、それがいけないというわけではないが、出来合いの物に少しアレンジして食卓に出したりする努力もあるといいのかなと思っています。また、老人会の方で畑を1.5坪位借りているのですが、今年で2年目となり、夏にはきゅうりを植えて、今年は結構豊作で、お店に持って行って「私が作ったやつだから」とか言いながら、お客さんにお渡ししたりします。これだけなので、地産地消とまでは言えませんが。私はすぐ近くの畑で栽培することができますが、この練馬という場所は、練馬産の野菜を買いに行くところがない。なかなか練馬産はおいていない。地産のものを使うってことはちょっと難しいところがあると思っています。少しでも新鮮なものをお届けして皆さんに召し上がっていただきたいという思いはあります。食品衛生協会の方でも、練馬まつりでいろんなアピールをしますが、賞品をもらいたいのためにだけに寄ってくるような方たちも多く、上手に説明ができないようなところもあります。食のことを考えてっていうのはなかなか難しいところがあるなと思っています。

(委員) 皆様がおっしゃっていたようにほんとに会議で出た意見が反映されていてすごく感動しました。この情報誌についても出来たものを初めて拝見させていただいて、色合いですとかも、見やすいのではないかと。写真がすごく練馬らしい写真を選択されているのかなと思いました。あえて意見を言わせていただくと最寄駅とかが書いてあると、より見やすいのではないかなと。

(事務局) 情報誌の最後に地図を掲載しています。この紙面では書ききれなかったので、全体の地図で掲載させていただいています。

(委員) あと、サブリのお話では、私の大学は副都心線沿いにあるので、練馬に住んでいる人も結構いて、農業祭の話をつまに友達にすると「知らなかったけど、そ

んなのあるなら行ってみよう」というお話もありました。やっぱりフェイスブックとかツイッターで告知していただけるとの事だったので、共有などして少しながら協力させていただけたらなと思いました。

(委員長) 本当に色々ご意見いただきましてありがとうございます。

このアプリとのコラボキャンペーンの世界都市農業サミットは、ご存知ない方も多いと思います。来年度が本番で、今年はプレイベントとして、11月23日から25日まで、練馬のココネリや周辺で開催するのですけれど、外国の都市の方を招聘して国際会議をやるというのがメインのイベントではありません。その他、マルシェだとかワールドマーケットだとか、楽しいイベントもたくさんあります。皆様に是非お越しいただきたいということもあって、応援店にもご協力をいただいて、区民の方にも広げていきたいと思っていますところ。それから、東京メトロがFind my Tokyo といって、様々なメトロの駅を取り上げて、石原さとみさんが紹介しているCMがあります。その中で、平和台の駅の近くにある農家さんの直売所のボックスが取り上げられるようです。その映像を見ると、練馬の都市農業というのを発信してもらえているようですので、イメージがとても良くなると思いました。玉葱が150円なのですが、50円玉のおつりが出ないので、200円入れてくださいって書いてあって、200円入れると中におつりの50円貼ってあるんですね。で、おつりを忘れずにお取り下さいという映像で、そういうことも含め、いろいろ練馬の農業と食育というのはコラボ出来るところがたくさんあるなと思っております。今回初めてこのキャンペーンを本格的にやるのですが、応援店の方のみならず、様々なところのご協力をいただいて、引き続きキャンペーンをやっていききたいというふうに思っているところです。応援店も、さらに広がりが出てくるといいな、と思っております。私も今一生懸命歩いてキャンペーンをクリア出来るように歩こうと思っています。

それでは、ご意見、ご質問の前に他の資料についてご説明をさせていただきます。JA東京あおばの農業祭について事務局から資料5の説明をお願いします。

(事務局) (資料5の説明)

(委員長) どなたかに出ていただくというのをお願いしていますか。

(事務局) ネットワークの委員が出てくださいます。

(委員長) 他にご協力いただける委員さんがいらっしゃれば是非よろしくお願ひしたいという事と、例年大変多くの方がお見えになっているイベントですので、その場で色々アピールできると良いと思います。昨年が雨だったということですが、お天気よくなる事を祈ってやっていきたいと思っています。それでは続きまして、資料6の食育の講演会についてご説明をさせていただきます。

(事務局) (資料6の説明)

(委員長) 小中学校にはチラシを配布させていただいているということでございますが、委員の皆様の方でも身近な方にでも是非周知の方のご協力よろしくお願いいたします。

委員の皆様の方から是非何かご意見等ございませんでしょうか。それでは木川先生から、いただいているものがありますので、それについてご説明をさせていただきます。

(事務局) 木川校長先生の方から、資料をお預かりしております。木川先生は中学校の校長先生でいらっしゃいますが、中学校で毎年、自分で作る朝ごはんコンクールというものを開催しているということです。こちらのコンクールですが、中学生が、自分で作った朝ご飯のレシピを作成し、コンクールをするという取り組みだそうです。例年たくさんの中学生が参加しているということなのですが、資料にあるように、私どもの取り組んでいる食育と目標は同じで、子どもの食の自立を目指してやっていらっしゃるということで、ご紹介させていただきました。実は、私もこの取り組みのことを知らずに、庁舎のアトリウムで展示会をしていることも知らなかったのですが、去年木川先生にご紹介いただきまして見させていただきました。今年は11月22日から11月30日まで、そのコンクールに応募した中の作品で審査の一次審査を通過した奨励賞や金賞、銅賞、特別賞とかのパネル展示をするということです。素晴らしいメニューが去年も出ておりました。とても中学生が作ったとは思えないものもありまして、子どもたちが自分たちで作ってみるといところ、親子話し合っ、親がもしかしたら手伝うこともあったかもしれないけれど、自分で作ることの入口になることでは、とても意味のある取り組みだと感じております。自分で自分のごはんを作れる子供が多くなればいいなという私たちと同じ思いで、このようなコンクールをされていると紹介したいということだったので、本日、木川先生はPTAの会合があるということで、今回ご紹介させていただかないと次の部会が1月になってしまうので、是非皆さんにご紹介してくださいということでした。私でうまく伝えられるかどうかかわからないのですが、ご紹介させていただくということで、資料をお預かりいたしましたので、皆さんにお知らせいたします。

(委員長) 子供が区立の中学校に行っていたので、毎年中学校1年から3年まで夏休みの課題として出ていました。ひとつ練馬の食材を使用している事という条件があるので、それを調達する為に近くの農産物直売所で買ってきたり、自宅で栽培したものでも良いとなっているので、そういうものだから、皆さん工夫してコンクールに出しているということです。入選するのは素晴らしいものなのですが、練馬の食材を購入したり、親子で作るといようなことを経験する

というのは、練馬区ならではの良い取り組みだと思っています。この取り組みが例年続くということにも、意味があるなと思っています。もっとレシピもお洒落にして、配っても良いのではないかと思うのですが、なかなかそこまでは大変のようなので、パネル展示をされるということですので、是非お立ち寄りの際などにご覧いただければと思います。小学校のほうではいかがですか。

(委員) 私も中学校にいましたので、やはりこの取り組みはけっこうなものでした。うちの小学校では、6年生が自分で作ったサラダというのを廊下に展示しています。色とりどりでやっぱり見た目って子供には特に大事だなと思います。同じ美味しいものでも、見た目がいいと食べられるけれど、見た目がちょっと残念な地味な色だといらぬ、となってしまう。見た目も工夫のひとつかなと思います。子どもたちが作るサラダは、カラフルですね。どうしても自分の体験からいうとお弁当を作るとどうしても茶色っぽくなっちゃったりするのですが、やっぱり色を添えたいと思う。そうすると必ず野菜も必要になってきたりするので、こういう取り組みはすごく大事だなと思っています。

(委員長) それでは本日ご用意した資料とか議題についてはこれで全て終了となりますけれど、皆様何かございますでしょうか。

(委員) 練馬人図鑑という JCOM の番組があります。小林綾子さんが司会で、練馬で頑張っている人を紹介するっていう番組がありまして、この度私が 9 月 10 日から一週間放送されていまして、自分の生い立ちからお店の取り組み、それからねりまの食育応援店を一応メインに据えて、ねりコレも紹介しました。私がマラソンやっていますので、最後結論のところ、運動と食育はいいよっていうゴールが目標だったのです。ですが、僕が練馬区でフルマラソンをしたっていうのに小林綾子さんがつられ、それが結論になっちゃったのです。その番組は、You Tube にあがっています。練馬人図鑑のホームページからも見られます。最終的に僕の子どもの顔も出たりして、楽しいというか、まるとしさんすごいってなると思います。

それからあと一点、北町の三商店街で 13 年前から打ち水っていう水撒きをしています。最初はひとりで立ち上がって、合同で色々出来るように流れが出来て、北町商店街の小判が誕生したりしました。打ち水は、以前はメディアも結構紹介してくれて、和田アキ子さんの番組に出演しました。こここのところメディアでは音沙汰なかったのですが、今年は異常に暑かったためか、東京都の番組で東京サイトというテレビ朝日の番組があり、今年 7 月 23 日から一か月間水撒きをしたところ、その初日に取材してくれて、一応 8 月 7 日放送されています。東京都の環境の取り組みや板橋区の取り組みなどと一緒に放映されました。いろいろメディアでの取材が北町でもありまして、フジテレビのノンス

トップでの、あぶちゃんっていう芸人さんのバスの旅も練馬特集でした。西武の練馬駅周辺のデンマークや利久、そのあと早宮のスポーツ吹き矢、次週北町で、ボタンという喫茶店やニコールというブティックなんかが登場するようです。他にも、高田純次さんが北町の小判で買い物をしたり、ラジオでも北町が取り上げられたり、このところ、メディアによく取り上げられているようです。

(委員長) ありがとうございました。それでは他はよろしいでしょうか。本当に今日はお忙しい中ご協力いただきましてありがとうございました。次回は来年、平成31年の1月に部会会議ということで開催をさせていただきたいと思います。また、改めて開催のご案内をさせていただきますので、委員の皆様お忙しいと思いますが、どうぞよろしく願いいたします。それでは、これで本日の練馬区食育推進ネットワーク会議を閉会とさせていただきます。